

## 集会案内

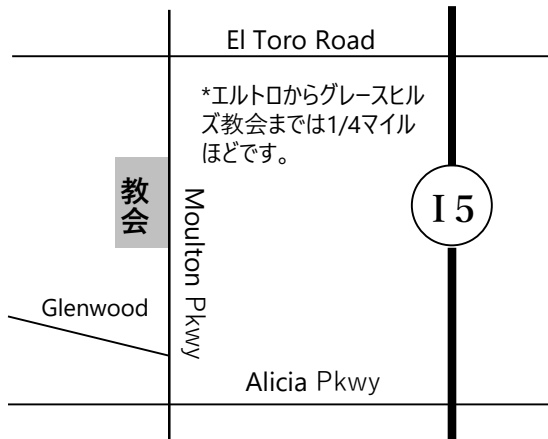
毎日曜日： 祈 禱 会 1 : 1 5 p m - 1 : 4 5 p m  
 礼 拝 2 : 0 0 p m - 3 : 2 0 p m  
 茶 菓 3 : 3 0 p m - 3 : 5 0 p m  
 聖書研究 4 : 0 0 p m - 4 : 5 0 p m

毎月1回：家庭集会 ラグナ・ウッズ、又はアーバイン  
 10 : 30 a m ~ 昼食

教会住所： c/o Grace Hills Church  
 24521 Moulton Pkwy  
 Aliso Viejo, CA 92637

- ◎ 私達の礼拝は第1バプテスト教会グレース・ヒルズ教会堂内のチャペルで行なっています。
- ◎ 子供たちのためのサンデー・スクールもあります。また、遊具等の設備も豊かに整っております。
- ◎ 12年前に始まった日本語教会です。どなた様もお気軽にお出かけ下さい。

## 教会の地図



 Irvine Nihongo Kyokai

### 連絡先：

杉村 宰 牧師 電話：(714) 527-1456  
 Eメール：sugimura1950@gmail.com

田畑 彰 牧師 電話：(949) 701-6502  
 Eメール：mt.moriya77@gmail.com

Rev. Tsukasa Sugimura

◎石叫 ■ 「89連敗でストップ」

『羅府新報』（二〇一八年、七月十一日付）に「89連敗でストップ」という見出しがあった。連勝は分かるが、連敗というのは珍しい。そこで探ってみた。大相撲で2015年秋場所に初土俵を踏み、これまで一勝しかしていなかった序ノ口の服部（はっとり）桜（式秀「しきひで」部屋）が名古屋場所三日目の十日、颯雅（そうが）（二子山部屋）の腰砕けによって白星を挙げ、連敗を八十九で止めた。十六年夏場所以来、二年ぶりの二勝目（一一一敗一休）を挙げた瞬間、朝八時半すぎで観客がまばらなドルフィンズ・アリーナの館内は拍手に包まれた。服部桜は「うれしかった。自分の立ち合いをしようと思った」とほほえんだ。日本相撲協会広報部によると、幕下以下の連敗記録は残っていないが、極めて異例の連続黒星だった。神奈川県出身で一七六センチ、八十キロの十九歳。首を痛めて満足に当たれなかった時期もあり「いろいろあったけど、辞めようとは思わなかった。次は勝ち越しを目指す」と闘志を燃やした。

服部がこの二年間、89連敗が続いてもなお食らいついてゆけたのは、本人の自覚もさることながら、親方の励ましも大きかったに違いない。そこで調べてみた。親方は「明るく・楽しく・元氣よく」をモットーに掲げ、弟子には「無理をしない」と声を掛け、病氣もケガもないように気を配っているという。何よりも相撲部屋（モットー）が良い。連敗しても良いじゃないか。楽しもうよ、とにかく真正面からぶつかっていきましょう」という雰囲気（相撲部屋）にあふれていた。今は負けても、次は頑張ろう、その次も、ということになる。

箴言に「正しい者は七たび倒れても、また起き上がる」（二四・16）とある。これは、たとえ私たちが何度か罪という泥沼にはまり込んでも、その度ごとに心が主イエスに向けてへりくだるなら、主は必ずやそこから私たちを引き上げてくださるといふ信仰を表したものである。要は、そこで主に救いを求めるか否かである。だから私たちが主を求めるとき、主は自らそこに飛び込んで行き、罪と闘って全身血だらけになっても喜んで私たちをそこから救い揚げ、信仰という土俵の上に立たせてくださるのである。たとえ89連敗であってもだ。

### 「私達の教会の歩み」

2005年9月18日、アーバイン日本語クリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡クリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。杉村宰牧師をはじめ、田畑彰牧師、ジェームス・パーク牧師、佐藤裕士兄と信徒達の協力で毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをし、月一回の家庭集会を開いております。

### 「ミッション・ステートメント」

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令（マタイ28：18-20）に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。